

2020年度

聖園女学院中学校
入学試験問題

総合力テスト

(時間 60分)

[注意事項]

1. 試験開始の合図があるまで中を開いてはいけません。
2. 受験番号・氏名を解答用紙の定められた欄にかならず記入しなさい。
3. 試験問題の印刷がはっきりしない場合には手をあげなさい。
4. 解答は解答用紙に記入し解答用紙のみ提出しなさい。
なお、解答用紙は①と②の2種類あります。

問題は次のページから始まります。

設問1 次の文は、台所に立つ小学生とその家族の会話です。これについて、以下の問いに答えなさい。

たけし 「わあ！ 玉ねぎ、たくさん送られてきたね！」

父 「そう、①淡路島のおじさんからだよ。たけし、この玉ねぎを切ってくれないかい？」

たけし 「いいよ。どう切ればいい？」

父 「繊維にそって5 mm幅くらいの薄切りにして」

たけし 「了解！ ああ、涙が出てきたよ」

父 「ある食品メーカーが切っても涙の出ない玉ねぎを開発して、販売していると聞いたよ。今度、それを試しに使ってみよう。玉ねぎは切れたね。次は、トマトを②くし形切りでお願いしますよ。これはサラダ用だよ」

たけし 「くし形切りって、どんな切り方だったっけ？」

父 「球状のものをまず縦半分に切って、さらに放射状に4～5等分にするんだ。断面が日本の古いくしの形に似ているから、くし形切りというらしいよ」

たけし 「へえ、なるほどね。それにしてもこのトマト、すごく赤いね！」

父 「これもいただきものだよ。お隣のおばさんが家庭菜園で栽培した完熟トマトさ。だから、味が濃くておいしいはずだよ」

たけし 「スーパーで売っているトマトはまだ青いものもあるけど、どうして？」

父 「お店で売るには、【 A 】からね」

たけし 「そういえば、この前、友達に『将来、③パティシエになりたい』と言ったら、女の子みたいって笑われたんだ」

父 「そうか。たけしは何でパティシエになりたいんだい？」

たけし 「料理って楽しいし、特にお菓子って色とりどりに飾ってあってきれいだし、それを食べて喜ぶ人の顔が見たいんだ」

聖子 「ただいま」

たけし 「あ、姉ちゃんが帰ってきた」

聖子 「ただいま！ お腹空いたよ。ごはん、まだ？」

父 「まだ、もう少し待っていて。たけしはパティシエになりたいんだってさ」

聖子 「いいね！ それ、たけしに合ってる！」

父 「お父さんもそう思うよ」

たけし 「でも、友達に笑われちゃったよ。女の子みたいって」

聖子 「そんなことないよ。性別に関わらず、自分の力や個性を発揮していけばいいのよ。友達に笑われたことなど気にしないで、たけしには将来の夢に向かって踏み出して行ってほしいと私は思うよ」

たけし 「姉ちゃん、かっこいいこと言うね！」

聖子 「それほどでも。そもそも、パティシエってフランス語で男性形の名詞で、女性形ではパティシエールとなるの。どちらも国家資格で、日本の医者に相当するくらい社会的地位があるって言う人もいるわよ。医者といえば、日本の大学入試では複数の医学部で、性別によって合格の取り扱いに差が設けられていたことがあったよね。女性は子どもを産んで、仕事を休んだり、途中で辞めたりするからだと報道されていたよ。子どもを産むための産休という制度もあるのにね」

父 「産休というのもあるよ。育児休業制度で略して産休だ。これは、女性のためだけの制度ではないよ。男性の産休取得率は上がってきてはいるけれど、約6%と言われているよ。女性の産休取得率は80%を超えているから、男性の産休取得率は女性に比べると大きく【 B 】ね。お父さんの会社は250人の従業員のうち、男性は60%で【 C 】人だ。そのうち昨年子どもが生まれた男性は10人いるけれど、誰も産休を取らなかったよ。制度があるだけじゃだめなんだね。そうだ、たけし、この④缶づめを開けてくれる？」

たけし 「オッケー。缶切りを使うのは久しぶりだな。最近、プルトップ型の缶づめが多いよね。確か、缶切りもプルトップも『【 D 】の原理』を使って

いるね。あれ、お父さん、この缶づめ、ずいぶん前から家にあるけど、腐^{くさ}ってない？ 大丈夫？」

父 「大丈夫だよ。缶づめは長期間保存できるように作られているからね。缶づめは、内部の空気を抜いて密封^{みつふう}後に加熱して、食品^{くさ}を腐らせる微生物をやっつけるんだ。この方法以外に、食品の保存には、乾燥^{かんそう}させたり、砂糖や塩に漬^つけたり、⑤煙^{けむり}でいぶしたりする方法があるよ」

たけし 「そっか。そういうわけで、缶づめは長く保存できるんだね。缶づめに日付が書いてあるけど、この日まで食べられるってことかな？」

聖子 「いいえ、違^{ちが}うわ、その日を過ぎても食べられるのよ。それは、賞味期限と違ってその日までおいしく食べられることを示しているのよ。消費期限は、これを過ぎて食べたら健康を害する可能性があるから、食べないでくださいという意味よ」

たけし 「賞味期限と消費期限を正しく理解することで、食べられるものを誤^{はい}って廃棄^{はい}することが避けられるね。まだ食べられるのに捨てられてしまう『食品ロス』が問題になっていると学校で話題になったんだ。期間限定で販売されるクリスマスケーキ、お節料理、恵方巻^{えほう}きなどが大量に廃棄されているとニュースで見たよ。それから、『⑥3分の1ルール』といって、製造業者が製造日から賞味期限までの最初の3分の1の期間までに、スーパーやコンビニエンスストアに納品しないといけないという日本固有の習慣も、食品ロスの一因と知ったよ」

聖子 「『3分の1ルール』を見直したり、賞味期限が近くなった商品を割引して販売したりすることで、食品ロス対策をとるコンビニエンスストアも出てきたようね。食品メーカーやお店が出す食品ロスもあるけれど、各家庭から出る食品ロスも少なくないと聞いたわ。ねえ、ところで、この料理、何を作っているの？ 玉ねぎの薄切りに、ピーマン、ベーコン、ケチャップが用意されているね。それに、スパゲッティをゆでているのね」

父 「何だと思う？」

たけし 「【 E 】でしょ？ これって、イタリアの地名から来ているのかな」

父 「さあ、どうだろうね。横浜^{はっしょう}が発祥と聞いたことがあるけど。由来に色々な説があるかもしれないから、調べてみるといいよ」

問1 下線部①の位置を表わしている地図はどれですか。(ア)～(エ)から選び、記号で答えなさい。

(ア)



(イ)



(ウ)

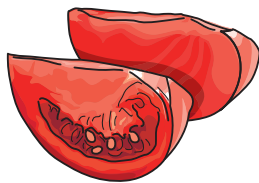


(エ)

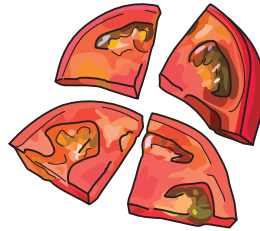


問2 下線部②とありますが、父がたけしに指示した切り方で正しく切ったトマトはどれですか。(ア)～(エ)から選び、記号で答えなさい。

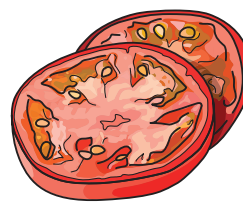
(ア)



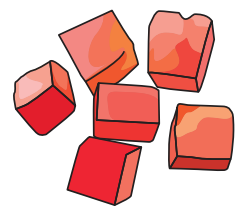
(イ)



(ウ)



(エ)



問3 会話の【 A 】に入る言葉として、最も適当なものを(ア)～(エ)から選び、記号で答えなさい。

(ア) 一刻も早くたくさんトマトを売って、利益を上げるようにしている

(イ) 青いトマトを求める消費者の多様なニーズにこたえるようにしている

(ウ) 収穫から出荷して消費者の手元に届くまでに赤くなるようにしている

(エ) 青いトマトを混ぜて、他の赤いトマトを引き立たせるようにしている

問4 下線部③「パティシエ」とありますが、これはどのような職業ですか。たけしと父の会話を参考にして答えなさい。

問5 会話の【 B 】に入る慣用句を(ア)～(エ)から選び、記号で答えなさい。

(ア) 水をさされている (イ) 水をむけられている

(ウ) 水をかけられている (エ) 水をあげられている

問6 【 C 】に入る数字を計算して答えなさい。

問7 下線部④について、缶づめを一度開けたら保存がきかなくなるのはなぜですか。たけしと父の会話を参考にして説明しなさい。

問8 【 D 】に当てはまる言葉を入れなさい。

問9 下線部⑤とありますが、煙でいぶす方法が用いられている保存食品を（ア）～（エ）からすべて選び、記号で答えなさい。

- （ア）ベーコン （イ）きな粉
（ウ）かつおぶし （エ）ぬか漬け

問10 下線部⑥とありますが、製造日が4月1日で賞味期限が9月30日の場合、納品期限はいつになりますか。最も適当なものを（ア）～（エ）から選び、記号で答えなさい。

- （ア）5月末 （イ）6月末 （ウ）7月末 （エ）8月末

問11 【 E 】に入る具体的な料理名を、下の地図を参考にして答えなさい。



設問2 次の文は、文化祭の計画についての小学生と祖父の会話です。これについて、以下の問いに答えなさい。

ゆりこ 「ねえ、おじいちゃん、私、今年もまた文化祭でクラスの委員長になったの」

祖父 「去年は縁^{えんにち}日だったよね、今年は何をするの？」

ゆりこ 「お化^{やしき}け屋敷」

祖父 「文化祭の定番だね」

ゆりこ 「去年の6年生は西洋風だったから、私たちは日本風にしようと思っているの。でも何から始めていいか分からないわ」

祖父 「どういうこと？ 去年もたしか委員長だったよね。上手に計画を立てられそうだけれど」

ゆりこ 「去年は自分から望んで委員長になったけれど、うまくいかないことばかりで、今年も委員長になるつもりはなかったの。でも先生やクラスメートから経験者だからと言われて、なんだか引き受けざるを得なくなったの」

祖父 「クラスの出し物をまとめる委員長はゆりこだけ？」

ゆりこ 「副委員長があと2人いるけれど、経験者は私だけなの。もう最初から私に“おんぶにだっこ”という感じで、ひどくない？」

祖父 「それは気の毒だね。でも、委員長というリーダーの役割には苦勞がつきものだよ。それにしても去年は何に困ったのかな？」

ゆりこ 「出し物のゲームがどれも未完成で、当日もお客さんの相手をしながら小道具を作っていたわ。またそんなことにならないかと心配で……」

祖父 「間に合わなかったことの原因を考えないとね」

ゆりこ 「あの時クラスで話し合ったのは、三種類のゲームをつくることだけで、あとのことはそれぞれの班の自由に任せたの。だから私が思い描^{えが}いていた縁日にはならなかったんだと思う。でも自主性は大切にしなければいけないことでしょうか？」

祖父 「もちろん班ごとの自主性は尊重しないとね。それにしてもずいぶん大雑把おおざっぱな進め方だったね。そもそもどんな風にしたかったの？」

ゆりこ 「私はゲームのほかに、教室の中に縁日らしい飾り付けかざりをしたかったの」

祖父 「そのアイデアをまずは委員たちで話し合っ、その上でクラスみんなに伝えて理解を得る手順を踏んだのかな？」

ゆりこ 「そのあたりのことが一番できなかったと思うわ。私なりに作業の途中とちゅうで伝えた方がいいかなあと思ったことは色々あったけれど、班の自由にしてしまったし、委員長だからといって、あまり細かく指図すると、みんなから嫌われきられそうで……」

祖父 「なるほどね。それでは去年みたいにならないように、少なくともスケジュール表を作らないとね。①スケジュール表を作ってみると重要なことがわかるよ。②それとスケジュール表を委員長と副委員長だけで持っているはいけないよ」

ゆりこ 「ん？ どういうことかしら」

祖父 「とにかく書いてみよう」

ゆりこ 「こんな感じかしら。うーん、あまりのんびりとしてられないわ。このスケジュールをクラスみんなにもわかってもらわないと」

祖父 「次は、③お化け屋敷に欠かせない要素を考えて、それに応じて作業分担をしないとね。ところで、どんなお化けにするのかな。一口にお化けと言っても妖怪ようかいと幽霊ゆうれいは性質が違うはずだよ。室町時代の絵で妖怪をユーモラスかに描いた例があるから、今度、図書館で調べてごらん」

ゆりこ 「面白そうね。お化けのデザインのヒントにしてみるわ」

祖父 「ところで、お化け屋敷のお客さんは同じ小学校の子ばかりかな」

ゆりこ 「ほとんどそうよ。でも来年入学してくる小さい子どもやご高齢こうれいの方もいらっしゃるはずよ」

祖父 「お化け屋敷となるとおどろかすことばかりに熱心になって、【 A 】面の確保がおろそかにならないようにしないとね」

ゆりこ 「そうね。気をつけるわ。それから心配なことがまだあるの。リーダーの一人が蛇のような姿をしたお化けの絵を持ってきて見せてくれたんだけど、それを教室の入り口横の壁に描こうと提案したの。そんな時間はあるかな。言うだけなら簡単よね」

祖父 「でもそれってお化け屋敷の雰囲気を出すために役立つよね。ところでそのお化けの絵は、これかな？」

ゆりこ 「そうそう、これよ」

祖父 「葛飾北斎の『百物語 さらやしき』という江戸時代に描かれた浮世絵版画だね。お菊という侍女の霊が古井戸に現れた場面だよ。お菊は家宝の皿を割ってしまい主人の怒りを買って、殺されて古井戸に捨てられたという古い言い伝えがテーマで、浄瑠璃や歌舞伎の演目にもみられるよ」



ゆりこ 「すごい迫力ね。この絵を学校で最初に見た時には気づかなかったけれど、蛇に見えた胴体はもしかすると【 B 】でできているのかしら」

祖父 「そのようだね、北斎の創作と言われているけれど、【 B 】が何枚も重なっているように見えるね」

ゆりこ 「それでね、その子は、この絵をできるだけ正確に拡大して描きたいと言うのよ。でも拡大するなんてどうすればいいのかな？」

祖父 「そうだね、まずは倍率を計算してみるんだよ」

ゆりこ 「倍率？ それって『比』の考え方を使うのかな？ 難しそう……」

祖父 「この場合、割り算を使うだけだから難しくないよ。ところで壁の寸法はどのくらいなの？」

- ゆりこ 「縦が2.35 m、横が1.5 mって先生が言っていたわ」
- 祖父 「この図版を基にした場合、長さで何倍したら壁の大きさになるかな。この図版は縦16.1 cm、横11.5 cmだよ。壁の大きさからはみ出さないで、しかも最も大きく描ける倍率を計算してみよう。図版の縦を基準にするのか、横を基準にするのかで倍率が変わってくるはずだよ」
- ゆりこ 「計算してみるね。図版の縦を壁の縦に合わせたときは【 C 】倍。図版の横を壁の横に合わせたときは【 D 】倍になるわ」
- 祖父 「そうするとつまり、縦と横どちらの倍率にすれば壁の大きさからはみ出さずに最も大きく描けるのかな」
- ゆりこ 「【 E 】よね」
- 祖父 「次に、拡大した絵を描けるだけの大きな画用紙はあるの？」
- ゆりこ 「先生に聞かないと分からないけれど、いつも図画工作で使うこれくらいの画用紙をテープでつなげばいいんじゃないかしら」
- 祖父 「画用紙でこれくらいという^{やっぎり}と八つ切りという寸法だね。八つ切りは縦392 mm、横271 mmだよ。これを何枚使えば、足りるかな。壁からはみ出たところはあとから切れればいいけれど、でもできるだけ画用紙の枚数を節約してね」
- ゆりこ 「壁の大きさを最大限に利用して、でも拡大した絵を壁からはみ出さないように貼るとなると……少なくとも【 F 】枚かしら」
- 祖父 「だいぶ見通しが立てられたね」
- ゆりこ 「おじいちゃん、ありがとう」

問1 下線部①とありますが、どのようなことが分かるのですか。2人の会話を参考にして考えて答えなさい。

問2 下線部②とありますが、祖父はゆりこに何を伝えようとしたのでしょうか。2人の会話を参考にして考えて答えなさい。

- 問3 あなたが文化祭でお化け屋敷を計画するとしたら、通路を作る班とお化け役の班以外にどのような班を作りますか。2人の会話全体を参考にして考えて、そのうちのひとつを答えなさい。
- 問4 【 A 】に当てはまる言葉を、直前の2人の会話を参考にして答えなさい。
- 問5 【 B 】に当てはまる言葉を、文中から抜き出して答えなさい。
- 問6 【 C 】に入る数字を、小数第1位を四捨五入して答えなさい。
- 問7 【 D 】に入る数字を、小数第1位を四捨五入して答えなさい。
- 問8 【 E 】に当てはまる言葉を答えなさい。
- 問9 【 F 】に入る数字を答えなさい。ただし、画用紙をつなぐ向きはすべて縦向きか横向きに統一すること。
- 問10 文化祭に限らず行事のリーダーに求められる役割を、2人の会話を参考にして答えなさい。

設問3

4月からあなたは聖園女学院で新たな中学校生活を始めます。その学校生活を実りあるものにするためには「いい学級」づくりが欠かせませんね。しかしそもそも「いい学級」とはどのような学級なのでしょう。まずはあなたが考える「いい学級」を説明し、その「いい学級」づくりのために生徒一人ひとりが大切にしなければならないことを提案しなさい。

解答は解答欄に合わせ、「私の考えるいい学級とは〇〇です。」から書き始めること。

設問3の解答は、解答用紙②に書きなさい。

評価基準

評価項目	5点～4点	3点～2点	1点～0点
①提案	課題をよく理解したうえで、具体的な提案をしている。	課題に沿った提案をしている。	課題と提案がかみ合わない。または提案を明確に示していない。
②分析	反対意見も紹介しながら自分の提案を様々な角度から分析している。	自分の提案に対する反対意見を紹介している。	自分とは違う意見があることを想像できていない。
③結論	自分の考えを筋道立てて説明したうえで、説得力ある結論を導いている。	自分なりの結論を導き出している。	課題と結論が一致していない。または結論を明確に示していない。
④独自性と考えの深まり	独自の意見を展開し、課題に対する考えを深めている。	課題について考えを深めていこうとする姿勢が見られる。	課題への取り組みが表面的で、考えを深めるに至っていない。
⑤文章技術	文章構成がしっかりしており、言葉の選び方に表現力が感じられる。	文章構成を意識し、わかりやすい言葉で述べている。	文章構成を意識しておらず、言葉の適切さにも欠ける。

問題は、ここで終わりです。

2020年度 聖園女学院中学校入学試験 総合力テスト 解答用紙①

受験番号 _____ 氏名 _____

設問 1	問 1	
	問 2	
	問 3	
	問 4	
	問 5	
	問 6	
	問 7	
	問 8	
	問 9	
	問 10	
	問 11	
設問 2	問 1	
	問 2	
	問 3	
	問 4	
	問 5	
	問 6	
	問 7	
	問 8	
	問 9	
	問 10	

設問 1 ・ 設問 2

計 _____ 点
75 点

受験番号：_____ 氏名：_____

総合力合計 _____点 / 100点

設問 3

私の考えるいい学級とは

Blank area for writing the answer to the question.

①提案	②分析	③結論	④独自性・ 深まり	⑤文章技術	計
					点 / 25点

2020年度 聖園女学院中学校入学試験 総合力テスト 解答用紙①

受験番号 _____ 氏名 _____

設問 1 34点	2	問1	工	
	3	問2	ア	
	3	問3	ウ	
	3	問4	お菓子を作る職業・菓子職人	
	2	問5	工	
	4	問6	150	
	5	問7	食品を腐らせる微生物が缶づめの内部に入るから。	
	3	問8	てこ	(完答)
	3	問9	ア・ウ	
	4	問10	ア	
	2	問11	ナポリタン	
設問 2 41点	5	問1	解答例) どの作業をいつまでに進めておく必要があるかということ。	
	6	問2	解答例) クラス全員が作業スケジュールを理解していれば協力の気持ちも生まれ、人手不足の係があれば助け合うことができるということ。	
	3	問3	解答例) 部屋の飾りつけをする班・受付班・救急班・交通整理	
	3	問4	安全	
	2	問5	(家宝の) 皿	
	4	問6	15	
	4	問7	13	
	3	問8	横	
	5	問9	32	
	6	問10	解答例) 行事の方向性や準備の見通しを立てて、各班の作業の進み具合を確認したり調整したりする役割。	

設問1・設問2

計 _____ 点

75点

受験番号：_____ 氏名：_____

総合力合計	_____点 / 100点
-------	---------------

設問3

私の考えるいい学級とは「思いやりあふれる学級」です。そして、そのために最も大切にしなければならないことは、一人ひとりがクラスメイト全員に関心をもつことだと考えます。

中には「違うグループの人のことなど関係ない」「気の合う人や趣味の合う人と友だちになれば十分だ」と考える人がいるかもしれません。たしかにいろいろな性格の人が集まる学級の中で、全員と親友になることは難しいと思います。しかし、仲良しの子以外に対して無関心なままでいて、何かに困っているクラスメイトの存在に気付くことができなければ、いい学級づくりに参加しているとは言えません。反対に、普段仲良くしている子以外にも関心をもち、互いに手助けをすることができれば、思いやりあふれるいい学級をみんなで作り上げることができると思います。以前、おなかが痛くて席でうずくまっていた時に声をかけてくれた子がいました。あまり話したことがないクラスメイトでしたが、それでも私のことを気にかけてくれたと思うと温かい気持ちになったことをおぼえています。それ以来、私も学級全体の様子に気を配るようになりました。

以上のことから、思いやりにあふれるいい学級をつくるために、まずは同じ学級になった人一人ひとりに関心をもつ気持ちを大切にすることを提案します。(約530字)

①提案	②分析	③結論	④独自性・深まり	⑤文章技術	設問3 計
					_____点 / 25点